平成 28 年度実施

新規事務事業マネジメントシート 作成日: 平成 28 年 12 月 16 日

事務事業名		第4次塩谷町生涯学習推進計画等策定業務委託事業 事後(中間)評価対象事業										
総合	政策	策名	0:2	豊かな	な人を育むまちづくり			所属課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	
計画	施	策名			学習環境の充実				課長名	寺田 正	担当者名	神山 直行
予算科目			会計 1	款		事業	* 事業コード 1 社会教育推進:		関係法令・ 条例等	教育基本法·男女共	同参画社会基	本法 等
事業期間			☑ 単年度のみ 単年度繰返 (開始年度						年度)	期間限定(年度~	年 度
1 事務事業概要 H15から5年毎に計画を見直して実践してきましたが、今回、H30からの「第4次生涯学習推進計画」策定を行う7 第3次の計画を検証すると共に「住民意識調査」(H29.2実施)を生涯学習基本計画の見直しを行うものである。 また、今回の計画の中に「男女共同参画計画」を策定する予定であります。 そこで、業者に業務を委託することにより、計画策定の支援を行ってもらい、本町に合った計画を策定し実践す 業者選考は、プロポーザル方式で行うことを考えております。 事務事業の概要 (事務事業の内容を記載) 2 概算事業費 委託料 2,500,000円(税込み)											ある。	
(1) =	多	業の目	的と指									
① 5	① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 第4次塩谷町生涯学習推進計画の策定									動指標(事務事業の活動量 名称 4次塩谷町生涯学習	を表す指標) 基本計画	単位 式
	② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 全町民								→ ア塩	象指標(対象の大きさを表す 名称 [谷町の人口	指標)	単位
	イ ③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 生涯学習によるまちづくりの推進										単位 %	
(2) 扌	旨標∙総	事業	貴の推	移					イ			
				単位	平成2	28年度	平成29年度	平月	成30年度	平成31年度	平成32年度	最終年度
活 重	動指標	1 美	標値	式式			1					(
70 =		1	標値	0								(
÷+-6		アに美	標値	人人			11,807					<u> </u>
N) S	大扫信	イ農	標値	0								
			標値	% %			50	ļ				(
Ⅱ 成身 Ⅱ	 指標	イ農	標値	0								0
計画					平成2	28年度	平成29年度	平月	成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投事	[国庫支 県支b 地方 その	<u>債</u> 他	千円 千円 千円								
里月	$\perp \perp$	一般! 養計	オ源 (A)	千円		0	2,500 2,500		0	0		0 0
実績					平成2	28年度	平成29年度	平月	成30年度	平成31年度	平成32年度	
投事	□ M I I I I I I I I I I I I I I I I I I	国庫支 県支出 地方 その	L金 債 他	千円 千円 千円 千円								
		一般! 養計	7 <u>源</u> (A)	千円		0	0		0	0		0 0

	評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果					
的 妥	① 公共関与の妥当性なぜこの事業を町が行わなければな	町の生涯学習推進計画を策定することであり、妥当である。	✓ 適切		適切					
当性評価	らないのですか?税金を投入して、 達成するものですか?		□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり					
有効	② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しな	これまで5年ごとの見直しを掛けており、法律等の改正から現在の社会状況に合わなくなってくるため。	☑ 適切		適切					
性評価	ければならないのか?先延ばしにできない理由は何か?		□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり					
効	③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか?将来のコスト増要因に対して	事業費として、算定した上で削減して この金額となっている。	✓ 適切		適切					
性評価	たか?将来のコスト増要因に対して 対策が考えられているか?		見直し 余地あり		見直し 余地あり					
公 平	④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公		✓ 適切		□ 適切					
性評価	平性が考慮されているか?	వ .	見直し余地あり		□ 見直し 余地あり					
3	3 事前評価結果 事前評価日: 平成 29 年 1 月 4 日									
	事前評価者として判断した今後									
(2)	☑ 1次案のまま採択)採択条件		採択)指示事項(事務專		i 日 积 等)					
		(0	//日水子及(子切-		IDIE 47					
Ļ	* B W=		+ ///_							
4	成果検証		事後(中間	引)評価日: 平成 年	月 日					
事	務事業実施後									
(!	の概要 実施しての効									
果、受益者等の										
反応、問題点、										
(1) 評価結果(今後の方向性)										
□優(成果大) □良(良好) □ 可 □ 不可(成果なし・中止・計画変更必要)										
(2)	(2) 総評 (3) 指示事項									
		事業								